

支援機器相談シート

相談日 R3年10月22日

小学部 児童1

相談内容	<p>●保護者より 自分で食べたり飲んだりできるようになってほしい。スプーンですくったり、コップを自分で持って飲んだりできるようになってほしい。</p> <p>●担任より補足 実態：簡単な指示理解はできる。毎日繰り返して行っていることは覚えてできるようになってきた。給食では、スプーンですくってあげれば、そのスプーンを持って口に運び食べることができる。しかし、そのスプーンを手放してしまい、すくうことは難しい。コップや牛乳瓶を自分で持って飲もうとしない。職員が口を持っていけば、飲める状態である。 手をつないで歩くことを好まず、一人で歩きたい。歩くことは大好きで、職員がついてくるのを待っていたり、様子を伺ったりする。</p> <p>相談内容：自分でスプーンを持ちすくうことができたり、一人で食べたり飲んだりすることを促す支援方法や支援機器を知りたい。また、手をつないで歩いたり、かばんや物を持ったりすることができる支援機器や工夫も知りたい。</p>
相談結果	<p>○自分でスプーンを持って食べるようになるために</p> <ul style="list-style-type: none">・食べる順番を工夫してみる。・好きな食具を使ったり、持ちやすいグリップを付けたりする。・飲み込みにくさはないか、味、形態（食感）の好みも人それぞれなのでいろいろ試してみる。・パン食を嫌がる<ul style="list-style-type: none">➡パンが唾液を吸収するため、食べにくい場合も。水分を摂った後に食べさせてみる。・液体（お茶、牛乳）を嫌がる<ul style="list-style-type: none">➡口を閉じやすいストローに替えてみる。➡スプーンで一口ずつ飲んでみる。➡コップで飲む角度も工夫してみる。 <p style="text-align: center;">*口の機能の発達に合わせて段階的に行っていく。</p> <p>○手をつないで歩くために</p> <ul style="list-style-type: none">・手を引っ張るなどの誘導的な動きを嫌がることがあるので、大人の服の袖を持たせたり、タオルの端をお互いに持ちながら歩くようにするなど、物から手へゆるやかに移行する工夫をするとよい。・手をつなぐことでバランスが崩れて歩きにくい場合もある。手をつなぐ高さや位置に気を付けて支援するとよい。



○手を使うようになるために

- ・日常生活のルーティンワークと一緒にやってみる。毎日繰り返し行うことが大事。
 - ➡ヘアブラシと一緒に持って髪をとかす。
 - ➡歯ブラシと一緒に持って磨く。
- ・食事で使い慣れているグリップをいろいろな物に付けてみる。(ペンやヘアブラシなど) 持ち慣れたものを付けることで安心感があり、取り組みやすくなる。

○コミュニケーションのために

- ・シンボルを覚えていく。
 - ➡散歩に行く前に、シンボルになるような絵カードを毎回見せる。
 - ➡ボールの絵カードを見せて、ボールを取りに行く遊びをする。ボールを持ってきたら絵カードと交換する。
 - *絵カードは実物ではないのでわかりにくい場合がある。絵カードと、その絵が表す実物を交換してみる。
- ・終わりと始まりがはっきりわかるようにする。例：タイマーを使う。挨拶をする。
 - ➡楽しいことにも終わりがあがることを意識できるようにしていく。

【ポイント】

- ・繰り返して慣れていくこと。
- ・好きな行動や好きな物がわかりやすい。

